

## 한통련 뉴스레터

제33호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org) ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

## 정세 情勢

## ●朝鮮の弾道ミサイル発射に韓米・日米の対抗軍事行動、進む韓米日軍事協力…尹政権は米国に対する追従姿勢を改めよ！



握手する韓米日の高官たち。左から船越健裕外務省アジア大洋州局長、金健(キム・ゴン)朝鮮半島平和交渉本部長、ソン・キム担当特別代表

韓米日3カ国は6月3日、朝鮮担当高官による会合をソウルで開いた。米務省のソン・キム担当特別代表は冒頭、朝鮮が7回目の核実験を準備していると指摘し、「韓国、日本との緊密な協力により、あらゆる状況に備える」と述べた。キム氏は、朝鮮半島の完全な非核化という目標に変わりはないとし、「違法で不安定を招く北朝鮮(※正しくは朝鮮)の行動には代償が伴う」と警告。そのうえで、前提条件なしの対話という提案に前向きに応じるよう朝鮮に促した。韓国外交部の金健(キム・ゴン)朝鮮半島平和交渉本部長も韓米日3カ国の協力は欠かせないとし、日本外務省の船越健裕アジア大洋州局長は、韓国の尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権下で3カ国の協力が一段と進展することに期待を示した。3氏は会合で、朝鮮の核実験の動きなど朝鮮半島情勢に対する評価を共有し、協力強化策を議論した。核実験の可能性に関連して、サリバン米大統領補佐官(国家安全保障担当)は8日、記者団に対し、「非常に注視している」と述べ、核実験を強行した場合は「断固たる対応」を取ると警告した。

こうした中、朝鮮は5日、短距離弾道ミサイル8発を発射した。金健氏と滞在中のソン・キム氏はソウルで緊急会談を行い、船越氏を加えた3者電話会談も行った。3氏は、朝鮮の弾道ミサイル発射は国

連安全保障理事会の多くの決議に反するもので、朝鮮半島と地域の緊張を高める挑発だと指摘するとともに発射を強く非難した。尹大統領は国家安全保障会議(NSC)終了後に報告を受け、常時の対応態勢を強固に維持し、韓米ミサイル防衛訓練を含む韓米の拡大抑止力と連合防衛体制を持続的に強化するよう指示した。韓国政府は8日、国会で開かれた政府と与党、大統領室による協議で、朝鮮の弾道ミサイル発射に対応するため、軍の「韓国型3軸体系」を一層強化していくと表明した。

朝鮮が短距離弾道ミサイル8発を発射したことに対抗し、韓米両軍は6日に地対地ミサイル「ATACMS」8発を東海(日本海)上に発射し、最新鋭のステルス機を含む戦闘機20機を黄海上空に飛行させ、空中での武力も誇示した。自衛隊と米軍は5日に共同弾道ミサイル対処訓練を行った。

中国外交部の趙立堅報道官は8日、韓米の対抗したミサイル発射に対し「関連国は冷静な姿勢を維持し、現在の緊張局面を激化させるどのような行動も避けるよう望む」と述べた。

韓国の李鐘燮(イ・ジョンソプ)国防部長官は11日、アジア安全保障会議(シャングリラ会合)が開かれているシンガポールで、オースティン米国防長官、日本の岸信夫防衛相との3カ国国防相会談に臨んだ。李長官は会談後、記者団に朝鮮の核・ミサイル脅威に対する韓米日の安全保障協力の重要性で一致し、協力の意思を互いに確認したと説明した。また、韓米日の共同訓練について「包括的水準で議論した」とし、ミサイル警報訓練や弾道ミサイルを探知・追跡する訓練などについて具体的に協議したと明らかにした。

一方、国連総会は8日、安全保障理事会で先月26日、対朝鮮制裁を強化する米国主導の決議案が、中国とロシアの拒否権行使により否決されたことを受け、両国に説明を求める会合を開いた。会合は、安保理で5常任理事国が「拒否権」を乱用するのを

防ぐため、4月に総会が採択した決議に基づくもので、初めて開かれた。

多くの加盟国が朝鮮や中ロの拒否権発動に非難の声を上げたが、中ロは「朝鮮の懸念に答えていない。米国には制裁緩和や韓米合同軍事演習の終了などできることが多くある」「制裁強化は状況を悪化させるだけだ」と米国批判を展開した。米国は「中国、ロシアによる拒否権行使は、朝鮮に（ミサイル実験などへ）暗黙の了承を与えたことになる」と主張。韓国の趙顕（チョ・ヒョン）国連大使は、朝鮮の弾道ミサイル発射を「最も強い言葉で糾弾する」としながら、挑発をやめて「完全で検証可能かつ不可逆的な非核化（CVID）」による朝鮮半島の平和に向け、対話の要請に応じるよう促した。これに対し、朝鮮の金星（キム・ソン）国連大使は「自衛権の行使は誰も否定できない主権国家の適法な権利だ」として、兵器の近代化は米国の直接的脅威から安保と根本的利益を守るための適法な自衛権だと主張した。

米国は朝鮮の短距離弾道ミサイルの発射に続いて、核実験の可能性を取りざたしながら、朝鮮に対する国際的な「警戒」世論の水位を高め、そうした中、韓米・日米の対抗軍事行動が展開されたように、韓米日軍事協力を強化し韓米日「軍事同盟」へと進展させることを目標にしている。しかし核実験

はいまのところ行われていない。米国政府は、朝鮮の「核実験」を口実に、韓米日の軍事協力・軍事強化を進めているといっても過言ではない状況だ。いわゆる「新冷戦」の下で、米国が主導する国連を舞台にした制裁などの国際的圧迫は、中ロの反対でいまや機能しない。国連があてにならないとなると、米国政府は朝鮮に対する韓米日軍事協力体制の強化に、ますます力を入れるだろう。

尹政権は5月の韓米首脳会談で韓米同盟がグローバル包括的戦略同盟へと引き上げられたとし、同盟関係の地域と分野における拡大を求めた米国に対する追従姿勢を明らかにした。実際、尹政権は米国のインド太平洋戦略により対中包囲網に組み込まれ、また、北大西洋条約機構（NATO）との関係を強化しながら、ウクライナ事態の中で対ロ包囲へ加わる可能性も否定できなくなっている。韓国はグローバル包括的戦略同盟の名の下に、米国政府が展開する覇権戦略の前進基地の役割を担わされようとしている。朝鮮に対し対決姿勢を示す尹政権では、南北関係の改善は進展しない。中ロとの関係悪化も避けられない。尹政権は米国への追従をやめ、朝鮮に対する対決政策を放棄し南北合意の実践を通じて関係改善を図り、中ロとの関係も維持すべきである。尹大統領の覚醒を強く促す。

## ●(記事紹介)ヒョスン・ミソン20周年忌キャンドル精神継承6・11平和大会



11日、ソウル市庁前で開催された「ヒョスン・ミソン20周年忌キャンドル精神継承6・11平和大会」

民プラス 2022.06.11

### ヒョスン・ミソン20周年忌、米軍処罰はいまだ足踏み状態

シン・ヒョスン、シム・ミソン二人の中学生が米軍装甲車にひき殺されてから20年。当時、遺家族を代理して加害米軍を告発したクオン・ジョンホ弁護士は、「当時、米軍を告発したが、真相究明、責任者処罰、S O F A（在韓米軍地位協定）改定はいまだどれひとつ実現していない」とし、重い負債の意識を感じると告白した。

11日ソウル市庁前で開かれた「ヒョスン・ミソン20周年忌キャンドル精神継承6・11平和大会」

会」で、クオン弁護士は「当時のキャンドルの要求は、この20年間足踏み状態だ」とし、「不平等な韓米関係を転換し、この地の戦争基地化に反対し、朝鮮半島の平和を実現することがヒョスン・ミソンキャンドル精神を完成する道」だと主張した。

大会では、全国の米軍基地周辺の市民団体参加者が、次のように基地撤去を要求し米軍犯罪を糾弾した。

△猛毒性発がん物質ダイオキシンが基準値の35倍と検出された龍山米軍基地、ここへ市民を招待することで、米国が負担すべき5兆ウォンに達する汚染除去費用に、免罪符を与えようとする尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を糾弾する。

△30年前、尹今伊（ユン・グミ）氏の残忍な殺害事件を起こした東豆川米軍基地、すでに返還されたはずだが、米軍は対中国包囲のためいまだに残留している。

△ヒョスン・ミソンをひき殺した米第2師団が移転していった世界最大規模の平澤米軍基地、国際平和新都市と称しながら、毎日、戦闘機と軍用ヘリコプターが飛び交う戦争演習場だ。

△1兆ウォンをかけて建設中の群山セマングム新空港は、実際は米空軍が利用する滑走路、これは米国が対中国軍事圧迫のために朝鮮半島を前哨基



スローガン幕を掲げる参加者たち

地化する布石だ。

△米軍細菌実験室がある釜山港、「米国ならオーケーなのか、細菌戦部隊は許せない、細菌実験するなら自国で行え」

△サード（高高度ミサイル防衛体制）基地へと向かう米軍の通行路を確保するために、韓国警察が韶成里の住民を踏みしめる公権力の乱用行為、「サードを抜いて平和を植えよう」

## 被害者はいるのに加害者がいない？

李長熙（イ・ジャンヒ）韓国外大名誉教授は「ヒョスン・ミソン事件は被害者がいるのに加害者がいない事件」だとし、「韓米S O F Aの毒素条項のために殺人犯罪を断罪できなかった」と声をあげた。

続けて「当時の国民的憤怒は、米国の顔色ばかりうかがい手をこまねいてなすすべのない政府と、ごう慢な米軍の態度に向けたものだった」「民族自主性回復のための平等な韓米関係への改善は、政治圏にだけ任せておいてはならない」とし、尹錫悦政権の均衡を失い偏向した対米外交を批判した。

大会を準備した共同代表団は「国民へのアピール」を朗読し、大会の参加者は「この地は米国の戦争基地ではない！」「不平等な韓米関係の再定立！」と書かれたスローガン幕を高く掲げた。

※民プラス、民衆の声、統一ニュースの大会記事と写真は下記のリンクをご参照ください

民プラス <http://www.minplusnews.com/news/articleView.html?idxno=12833>

民衆の声 <https://vop.co.kr/A00001614549.html>

統一ニュース <https://www.tongilnews.com/news/articleView.html?idxno=205277>

## 활동보고 活動報告

### ●第27回統一マダン生野を開催



ちゃんへん氏によるパフォーマンス

第27回統一マダン生野が6月5日、大阪市生野区・巽公園で韓統連大阪本部を中心とする実行委員会の主催で開催され、多くの在日同胞、日本人などが参加した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、3年ぶりの開催となる統一マダン生野の舞台では、プロパフォーマーちゃんへん氏によるジャグリングをはじめ朝鮮舞踊、朝鮮学校の子どもたちによる民族楽器演奏、サムルノリ、ウリノレ（韓国・朝鮮歌謡）独唱など多彩な演目が披露され、統一

マダン生野を盛り上げた。

金昌範（キム・チャンボム）実行委員長（大阪本部副代表委員）は主催者挨拶を通じ、「今、平和についていろいろ考えさせられます。私たちの祖国である南北、そして朝鮮半島と日本の間で平和を実現させるためには、共に仲良くすることが求められます。この2年間、コロナ禍で皆さん大変だったと思いますが、今日一日、有意義に過ごしてください」と語った。また筋原章博生野区長の来賓挨拶、韓国サンケン労組を支援する大阪市民の会からのアピールも行われた。

会場ではビールに焼肉、かき氷、フランクフルト、焼きそば、キムパッなどの多くの屋台が並び、早々に売り切れる屋台も出るなど盛況だった。フィナーレでは舞台上で参加者が手をつなぎ、ウリエソウォン（わたしたちの願い）を合唱。参加者からは「久しぶりの統一マダン生野に参加して、楽しいひとときをすごせた」などの感想も寄せられた。

統一マダン生野の様子は、新聞、テレビニュースなどで紹介された。

## ●韓青がレクリエーションを開催



ボーリングを楽しむ韓青メンバー

6月11日に大阪・放出で、韓青関西地協（京都・大阪・兵庫）のメンバーがボーリングレクを開催した。ボーリングやメダルゲームを楽しんだ後居酒屋で交流会を開き、7月末のサマーキャンプの話などに花が咲いた。

## ●情勢学習会を開催(神奈川)



李俊一部長(左)による情勢講演

韓統連神奈川本部情勢学習会が6月12日、川崎市内で開催された。文世賢（ムン・セヒョン）代表委員が主催者あいさつ。文代表は「大統領選挙は悔しい結果となった。当選から現在の情勢を見てみても、非常に危機感をおぼえる。検察のトップが新大統領になり、公安統治が進むのではないか。しかし、こういう厳しい状況だからこそ、わたしたちの組織を強化し影響力を拡大して

いかなくなくてはならない。今回の学習会でわたしたちの立ち位置を確認し、今後の方向性を論議していきたい」と語った。

李俊一総務部長が「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の誕生」と題し講演。大統領選挙から現在までの朝鮮半島情勢を解説した。李部長は尹錫悦政権に対して「徹底的な親米政権であり、米国の覇権政策に進んで合流することによって、南北関係が現在以上に危険な状態に陥る可能性がある。また、政府の主要ポストを検察関係者で固めており、検察と政府が一体化した形での公安政治が席卷することになるだろう。歴史の反動だ」と批判。一方で、地方選挙での進歩党の躍進にも触れ、「進歩党の今回の勝利は、韓国社会の変革には民衆との力強い連帯と団結が必要だということをも明快に示してくれた」と強調。「自主・民主・統一運動を神奈川で粘り強く展開し、組織を強化・拡大していこう」と語った。

※5月1日に開催した韓青生野北支部定期大会で、新たに委員長に就任した金和容（キム・ファヨン）氏の決意表明を爰（チャジュ、韓統連大阪本部発行）6月号から転載し紹介します。

## ●韓青生野北支部委員長を就任するにあたって－韓青生野北支部委員長 金和容

私はウリマル(韓国語)を習いたいと思い、色んな所から教室を探していました。そして、コリアタウンの掲示板に、韓青のポスターが貼られていて、それがきっかけで2016年の春に韓青に入りました。

当初は韓青の目的理念である「自主・民主・統一」には関心がなく、日本の偏向報道も嘘とは知らずに信じていたために「北朝鮮は独裁者が支配している怖い国」とか、「韓国はいつまで反日運動してるの?」と思ったりしました。日本に対しては、自由でちゃんとした国とも当時は思っていました。日本籍の私は日本の投票権があったので、投票にも行きましたがあの時も周りの意見に流されて、反民主的で在日コリアン達を差別する政党に投票したこともありました。

しかし、韓青での学習会や仲間達の話の中で、朝鮮半島の統一を妨げている勢力がいること、日本という国は平気で相手を陥れるために嘘を民衆

に伝達していることや、在日コリアンや他の外国人に対しても差別をしたり非人道的な扱いをしていること、慰安婦問題や徴用工問題と過去の過ちに対して誠実な謝罪ができていないこと等、半信半疑で聞いていましたがそれが本当のことと知り、強いショックを受けました。

私は今まで権力者側の嘘に踊らされ、加害に加担していたことに嫌悪と罪悪感を抱きましたが、同時に真実を教えてくれた韓青の仲間達に感謝しています。韓青に出会えて本当に良かったと心から思えました。

それから私は、意欲を持って活動に取り組みました。韓青や政治運動に抵抗感のある家族にバレないように、言い訳等で誤魔化して活動してきました。しかし、そろそろ限界がきたことから、家族の干渉を防ぐためと、韓青活動がしやすいよう一人暮らしを始めました。そして仲間の勧めで2019年末に常任になることを決意しました。と

ころが、これから頑張っ活動しようと思っていた矢先にコロナ感染が拡大し、そのせいで韓青活動にも影響が出て、行事が中止になったり制限されたりと思うように動けず、もどかしい気持ちを抱えたり、ネガティブ思考になったりもしました。

だからといってジッとするのはなく、限られた中でも活動して仲間達と協力し合い、できることは実現していきました。ジェンダー関係の学習会の実施、盟員を増やすためにSNSを活用したり、ユーチューブ動画を作成したり、送年会や新成人祝賀会等の対面活動がそうです。

保守政党「国民の力」の尹錫悦が大統領選挙に勝利したことで、検察権力と積弊勢力の暴走と南

北関係の冷え込み、格差問題、ジェンダー問題等が深刻になることが予想されます。また、積弊勢力やアメリカをはじめとする外勢の祖国統一の妨害、日本に関しては朝鮮半島に対する敵視政策、人権問題、差別問題、偏向報道、同調圧力と自己責任論や貧困に因る生きづらい社会等、問題と課題が山積みです。

祖国統一、民主主義の正しい発展と実践、正確な情報の発信と共有、人間としての尊厳と自由を守る、日本の社会問題と差別問題によって苦しんでいる在日コリアンの権益擁護を実践するために、私は生野北支部の委員長になることを決意しました。

## 행사예정 行事予定

### 7月

#### 京都紀行(三重)

日時：7月3日(日) 集合 内容：耳塚、ウトロなどフィールドワーク 主催：韓統連三重本部 参加  
対象：韓統連三重本部会員 連絡先：090-9021-4879

#### 「私はチョソンサラムです」神戸上映会

日時：7月9日(土) 受付13時45分 上映14時15分 場所：兵庫県民会館・けんみんホール  
参加費：前売り1,000円 当日1,500円 主催：同上映会 連絡先：078-222-4747  
(池本)

#### 韓統連セミナー(大阪)

日時：7月17日(日) 午後2時～ 場所：KCC会館 内容：シリーズ「ウリ現代史セミナー2022ー  
過去史を見つめなおし、その正しい清算のためにー」第1回「解放と分断」～新祖国建設に向かう怒涛の  
時代 主催：韓統連大阪本部 連絡先：06-6711-6377

#### 朝鮮戦争・休戦協定締結69周年 東アジアの恒久平和の実現を目指す7・27大阪集会

日時：7月27日(水) 午後6時受付、6時30分開会 場所：PLP会館 内容：講演「尹錫悦政権下にお  
ける韓日連帯運動の課題」講師：韓忠穆(ハン・チュンモク)韓国進歩連帯常任代表 主催：日韓平和連  
帯 連絡先：06-6583-5549(全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部)

### 第54回 韓青全国夏期講習会



7月30日(土)から31日(日)にかけて「第54回 韓青全国夏期講習会(サマーキャンプ2022)」が滋賀県近江八幡で開催されます。サマーキャンプとは年一回行われる韓青の組織活動で例年は東西に分かれて開催されますが、今年はコロナ禍で過去2年間開催できなかったということもあり、久々の全国開催として行われます。

今年のサマーキャンプの魅力は、自然豊かな琵琶湖沿いのキャンプ場で楽しむ「本格的なキャンプ体験」と、全国から同じルーツを持つ在日同胞青年が集まる「民族空間」の二つだと言

えます。在日コリアンの友だちが出来る、またとない機会になること間違いありません!

サマーキャンプの参加申込みは韓青ホームページからできます。まだまだ参加者を募集していますので、お知り合いの在日コリアン青年へ紹介・拡散をよろしくお願いします!

※韓青ホームページは[こちら](#)をクリック

先日、6・15共同宣言22周年を迎えました。韓青にいたころには祖国での6・15大会に参加し、祖国の同胞たちとともに統一に向け闘っていく決意を共有するという、素晴らしい体験ができました。冷却化した南北関係を一日も早く回復させ、またあのような活気を取り戻したいですね(李)